

■第3期 中期目標の基本的な考え方

【策定の基本的な考え方】

- 1 大阪府立大学は、法人化以降、府立三大学の統合、府立高専の法人運営化、学域制度改革など、大規模な改革を実行
- 1 これらの組織改革を通して、教育・研究の充実強化、地域貢献などに大きな成果
- 1 府大と市大においては、大学統合による高度研究型大学をめざして、「新・公立大学 大阪モデル(基本構想)」をとりまとめ

◆これまでの大学改革の取組の継続・発展

大阪府立大学

- ・社会のリーダーとなりうる高度な人材の育成
- ・地域・産業界との連携強化
- ・大阪のイノベーションを牽引できる高度研究型大学

工業高等専門学校

- ・創造力ある実践的技術者の養成

【基本的な目標】

- 広い分野の総合的な知識と深い専門的学術を教授研究し、豊かな人間性と高い知性を備え、応用力や実践力に富む有為な人材の育成を行う
- 研究成果の社会への還元を図り、もって地域社会及び国際社会の発展に寄与する

【中期目標期間】 ○平成29年4月1日から平成35年3月31日までの6年間

■教育研究等の質の向上に関する目標

～ポイント～

- ◇これまでの取組の承継・発展
- ◇連携強化による新たな取組の創造
- ◇社会情勢・国施策等を考慮した様々な改善・改革の実施

大阪府立大学

【教育】

- 国の入試制度改革への対応
 - ・多面的・総合的な評価を行う多様な入学選抜の実施
- 人材育成と教育内容
 - ・幅広い教養と高い専門性を備えた国際社会で活躍できる人材育成
 - ・産業界等と連携した教育の実施
 - ・異文化理解やコミュニケーションなどを重視した教育の展開
 - ・学生の国際流動性を高めるための支援制度の充実
- 教育の質の保証
 - ・教育の質保証のためのPDCAサイクルの構築
 - ・国際通用性のある教育カリキュラム展開
- 学生支援
 - ・学生に対する支援制度の充実、就学環境の整備等

大阪府立大学工業高等専門学校

【教育】

- ・リーダー的資質を備えた実践的技術者の養成
- ・就職や進学など多様な進路への円滑な接続
- ・専攻科生の海外インターンシップ派遣の推進
- ・府大と連携した多文化交流の検討

【研究】

- ・イノベーションの創出に向け先端的な研究や異分野融合による研究を推進
- ・分野横断的な研究体制を拡充。他機関と連携しオープンイノベーションを推進

【地域貢献】

- ・産学連携を強化し大阪の産業活性化に貢献
- ・府民・地域の多様な生涯学習ニーズへの対応
- ・自治体との連携を強化して政策課題に対応するなど「大阪のシンクタンク」の役割を發揮
- ・諸機関との連携による地域課題解決に向けた取組を推進

【グローバル化】

- ・大阪の公立大学としての優位性を活かし、特に、アセアン地域諸国などのアジアの大学や大阪府・府内市町村とのグローバル化施策と連携しつつ、教育・研究・地域貢献活動を推進

【研究・地域貢献】

- ・府大と連携を深めながら外部との共同研究を拡大
- ・小・中学生などを対象とする公開講座等の拡充
- ・社会人リカレント教育の検討

■業務運営等に関する目標

～ポイント～

- ◇経営資源の強化・活用
- ◇研究公正の推進などリスクマネジメントの取組強化

■業務運営の改善及び効率化に関する目標

- ・理事・学長のトップマネジメントを支える理事・副学長の役割・権限の明確化
- ・新大学実現を見据えて、法人業務、大学業務及び高等専門学校業務に対応した組織への見直し検討
- ・多様な優れた人材の確保・活用・育成・登用の推進、柔軟な人事制度の創設

■財務内容の改善に関する目標

- ・自己収入の確保に引き続き努めるとともに、全学的な業務改善を推進し運営経費を抑制
- ・運営費交付金については、現状の水準は維持しながら、自己収入の確保と経費の抑制の取組を継続することなどにより、引き続き適正化に努め、教育研究に必要な運営費を確保

■自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

- ・教育研究活動・業務運営について点検・評価し、その結果を改善に活用
- ・情報の公開による説明責任の履行、戦略的広報によるブランド力の向上

■その他業務運営に関する重要目標

【施設設備の整備】

- ・施設整備プランに基づき、耐震改修や老朽化対策を計画的に実施し、教育研究環境の整備を推進

【安全管理】

- ・学生・教職員が安全・安心に活動できる教育環境の整備

【コンプライアンス・リスクマネジメント】

- ・研究公正の推進や研究費不正使用の防止等の内部統制体制、コンプライアンスやリスクマネジメントの徹底に向けた取組

■大阪市立大学との統合による新大学の実現に関する目標

～ポイント～

- ◇新大学実現への具体的な検討と手続きの推進
- ◇市大との連携・業務共同化の実施

【新大学の実現】

- ・世界的な大学間競争を勝ち抜き、より強い大阪を実現するための知的インフラ拠点として存在感を高めるため、「新・公立大学」大阪モデル(基本構想)を踏まえ、世界に展開する高度な研究型の公立大学を目指し、府、市及び市大と緊密に連携を図りながら、法人統合から大学統合に至る準備が円滑に進むよう取り組み、今中期目標期間中を目途に新大学の実現を図る

【連携・共同化の実施】

- ・市大との連携を強化し、法人・大学業務や教育研究の共同実施など、連携・共同化が可能なものについて、先行して実施